

企業名：ミツウロコグループホールディングス

レポート名：ビジネスレポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

企業の種々の取り組みの共通点としては、今日の社会で度々掲げられている地域、環境に配慮し多様性を守りつつ成長を目指す「持続可能な社会」がある。その共通点をこれまでのミツウロコグループホールディングスがあり続けてきたと述べている「豊かな暮らしのにないて」と同時に成り立たせることがこの企業が目指す姿と言える。しかし私はこの主張は企業が目指している姿というよりむしろ企業のイメージ向上を狙った取り組みに思えてしまう。よってこの会社が本当に目指す姿が理解出来たとはいえない。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

単刀直入に言うと理解できない。強いて言うならばこの企業の特徴は石油製品・LPガス・固形燃料の販売などを行う企業でありながらエネルギー・電力事業の他にも、食・住に関わる事業をしているところにあるが、同じ役割は他の電力・エネルギー会社でも果たせる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

「2.」であげた複数の事業を展開している点をこの企業の競争優位性と仮定するならば、ミツウロコホールディングスにその競争優位性を持続させられる能力はあると考える。それは企業自体事業を拡大して一定の期間が経過したこととこれからも継続させられる業績があることが示してあるからである。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

ビジネスレポート 2021 内で人的資本については、健康経営つまり一般的なホワイト企業であることの主張やその根拠を提示することでその取り組みに言及している。しかし、人的資本の価値向上という点では、ミツウロコグループホールディングスが掲げている企業理念や今後の経営方針に対応できるように従業員一人一人のスキルを向上させられる取り組みについて言及されていない。企業を支えるのは高尚な理念ではなく人的資本なのであるという認識が感じられず、この会社では自身の人的資本の価値向上を達成できるとは感じなかった。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

企業としての目標に関しては、現在行っている事業、そしてその事業のそれぞれの目標を示した後で抽象的な全体としての目標をあげるのではなく、最初に全体としての目標を示しその後詳細説明に入る方がより詳細説明を読む際に目標を意識することができる。あとはところどころ文字が小さい。小見出しもより大きくしたり書体や色を変えたりするなど読みやすさにも配慮すべきだと考える。最後に、企業を象徴する大きな一つのテーマを常に意識しながら論じていくとよりミツウロコグループホールディングスの魅力が伝わると考える。